

地域づくり活動の行動計画

岩手県立中央病院

2024年度
第1回地域緩和ケア連携調整員研修 ベーシックコース

【チームメンバー】

参加施設・所属	氏名(職種)
岩手県立中央病院・緩和ケアチーム	野口 浩輝 (医師)
岩手県立中央病院・緩和ケアチーム	佐藤 厚子 (看護師)
岩手県立中央病院・緩和ケアチーム	工藤 穂奈美 (看護師)
岩手県立中央病院・緩和ケアチーム	佐藤 あゆみ (薬剤師)
岩手県立中央病院・緩和ケアチーム	橋本 麻友 (医療社会事業士)

① 選定した地域の課題

盛岡中心地以外の社会資源が少なく、在宅医療への移行が難しい。
情報共有の場がない。

（訪問看護ステーション、薬剤師（転院先・院外薬局、介護関係）
緩和ケア病棟への転院が間に合わず、当院で看取りとなる場合がある。

② どんな地域を目指すのか

患者、家族が希望する終末期ケアを早期から提供できる地域
地域と病院がスムーズに情報共有できる地域

③ 目指す地域を実現するために取り組むべきこと

- 共有の場の設定（病院と地域）
- 情報連携ツールの活用
- 患者、家族と病院の担当者との話し合いの場を設ける

④ 具体的な行動計画と

⑤ 目標達成時期

今年度は、院内で行動計画を共有、地域医療福祉連携室と情報共有

(転院調整日数等の評価指標)

来年度は、行動計画を実行する。

(1) 共有の場の設定 (病院と地域)

→ 緩和ケアチームで、在宅支援診療所・緩和ケア病棟などの
医療機関へ訪問

→ 新規開拓

(2) 情報連携ツールの活用

→ 看護サマリ、情報共有シート、訪問看護報告書・介護支援連携
シートを活用

(3) 患者、家族と病院の担当者との話し合いの場を設ける

→ ACPに関する院内研修会